

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-033933
 (43)Date of publication of application : 07.02.1997

(51)Int.Cl.

G02F 1/1339
 G02F 1/1345
 G09F 9/30

(21)Application number : 07-186734

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 24.07.1995

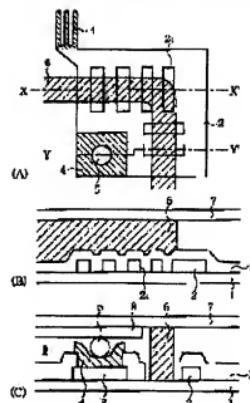
(72)Inventor : KANESHIRO TAKESHI
 MASUDA SHIGERU
 OKAMOTO KENJI

(54) LIQUID CRYSTAL DISPLAY PANEL

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a means which improves the adhesive strength of a seal material between a 1st and a 2nd substrate at end parts of the liquid crystal display panel.

SOLUTION: The liquid crystal display panel which has liquid crystal 9 sandwiched between the 1st substrate 1 having at least plural row electrodes and plural column electrodes arranged crossing the row electrodes across an insulating film on a transparent insulating substrate and a 2nd substrate 7 having at least a transparent conductive film on a transparent insulating substrate, and also has the terminal part 2 for applying a voltage to the 2nd substrate 7 on the 1st substrate 1 has an uneven structure on the surface of a part to which a seal material 6 for sticking the peripheries of the 1st and 2nd substrates 1 and 7 together at the terminal part 2 is applied. This uneven structure has one hole (slit hole 21) at a terminal part (terminal 2) made of a metal film and an insulating film (protection film 3) formed thereupon to form a hole penetrating both the terminal part made of the metal film and the insulating film on it.



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-33933

(43)公開日 平成9年(1997)2月7日

(51) Int.Cl. ⁴	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 2 F 1/1339	5 0 5		G 0 2 F 1/1339	5 0 5
1/1345			1/1345	
G 0 9 F 9/30	3 0 9	7426-5H	G 0 9 F 9/30	3 0 9

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全5頁)

(21)出願番号	特願平7-186734	(71)出願人	000005223 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番 1号
(22)出願日	平成7年(1995)7月24日	(72)発明者	金城 誠 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内
		(72)発明者	増田 茂 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内
		(72)発明者	岡本 駿次 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内
		(74)代理人	弁理士 柏谷 昭司 (外1名)

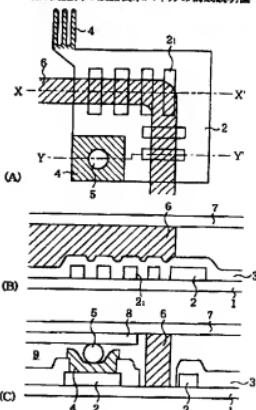
(54)【発明の名称】 液晶表示パネル

(57)【要約】

【目的】 液晶表示パネル関し、端子部における第1の基板と第2の基板の間のシール材の接着性を改善する手段を提供する。

【構成】 透明絕縁性基板の上に少なくとも複数の行電極と、この複数の行電極と交差するように絶縁膜を介して配設された複数の列電極を有する第1の基板1と、透明絶縁性基板の上に少なくとも透明導電膜を有する第2の基板7によって液晶9を挟み、第1の基板に、第2の基板に電圧を印加するための端子部を有する液晶表示パネルにおいて、端子部の、第1の基板と第2の基板の周辺を貼り合わせるためのシール材を適用する部分の表面に凹凸構造を形成する。この凹凸構造を、金属膜からなる端子部(端子2)に少なくとも1個の孔(スリット状の孔2₁)を形成し、その上に絶縁膜(保護膜3)を形成することによって、また、金属膜からなる端子部とその上の絶縁膜の両者を貫通する孔を形成することによつて実現することができる。

第1実施例の液晶表示パネルの構成説明図



【特許請求の範囲】

【請求項1】 透明絶縁性基板の上に少なくとも複数の行電極と、該複数の行電極と交差するように絶縁膜を介して配設された複数の列電極を有する第1の基板と、透明絶縁性基板の上に少なくとも透明導電膜を有する第2の基板によって液晶を挟み、該第1の基板に、該第2の基板に電圧を印加するための端子部を有する液晶表示パネルにおいて、該端子部の、該第1の基板と該第2の基板の周辺を貼り合わせるためのシール材を適用する部分の表面に凹凸構造を有することを特徴とする液晶表示パネル。

【請求項2】 第2の基板に電圧を印加するために第1の基板上に形成された金属膜からなる端子部に少なくとも1個の孔が形成され、その上に形成された絶縁膜のシール材を適用する部分の表面に該孔に相当する凹凸構造を有することを特徴とする請求項1に記載された液晶表示パネル。

【請求項3】 第2の基板に電圧を印加するために第1の基板上に形成された金属膜からなる端子部とその上に形成された絶縁膜に、少なくとも1個の孔が形成されて、シール材を適用する部分の表面に凹凸構造を有することを特徴とする請求項1に記載された液晶表示パネル。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、第1の基板(TFT基板)に形成された第2の基板(対向基板)への端子部の構造に特徴を有する液晶表示パネルに関するものである。

【0002】

【從来の技術】 図3は、從来の液晶表示パネルの構成説明図であり、(A)は平面図、(B)は(A)のX-X'断面図、(C)はY-Y'断面図である。この図において、21は第1の基板、22は端子、23は保護膜、24、28はITO膜、25は導電性スペーサー、26はシール材、27は第2の基板、29は液晶である。

【0003】 従来の端子構造を有する液晶表示パネルにおいては、ガラス等の透明絶縁性基板からなる第1の基板(TFT基板)21の上に金属膜からなる端子22が形成され、その上に、この端子22との接続領域の上に開口を有する保護膜23が形成され、その上に、この開口中で端子22と接続するITO膜24が形成され、このITO膜24の上に導電性スペーサー25を設置した状態でITO膜28を有する第2の基板(対向基板)27が重ねられ、その周辺部が有機接着剤からなるシール材26によってシールされ、第1の基板21と第2の基板27との間の隙間に液晶29が注入されている。

【0004】 すなわち、第1の基板21の上に配設される第2の基板27のITO膜28に電圧を印加するため

の端子部は、シール材26を塗布する部分を横切る構造になっており、しかも、比較的広い面積にわたってシール材26を塗布する部分と重なっている。また、この場合、第2の基板27のITO膜28に電圧を印加するための端子部の構造は、そのほぼ全境で第1の基板21の上に端子22、ITO膜24となっている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 従来の構造の端子部を有する液晶表示パネルにおいては、前述のように、第2の基板27のITO膜28に対する端子構造が、ガラス基板等の第1の基板21上の端子22の上に形成されたITO膜24であるため、その上に適用されるシール材との接着性が弱く、ITO膜24からシール材26が剥がれ、そこから液晶29が漏出するという障害が発生していた。

【0006】 図4は、從来の液晶表示パネルに発生するシール劣化状態の説明図である。この図において、21は第1の基板、22は端子、23は保護膜、24、28はITO膜、25は導電性スペーサー、26はシール材、27は第2の基板、29は液晶である。

【0007】 従来の構造の端子部を有する液晶表示パネルにおいては、前述のように、第1の基板21の上に金属膜からなる端子22が形成され、その上に、この端子22の、第2の基板27のITO膜28への接続領域の上に開口を有する保護膜23が形成され、その上に、この開口を通して端子22に接続されるITO膜24が形成され、また、第2の基板27の上にITO膜28が形成され、第1の基板21のITO膜24と第2の基板27のITO膜28の間に、導電性スペーサ25を挟んだ状態で、その周辺をシール材26によってシールされ、第1の基板21と第2の基板27の間の隙間に液晶29が注入されているが、ITO膜24とシール材26の間の接着性が弱いため、この部分で剥離し、注入されていた液晶29が漏出することがあった。

【0008】 本発明は、端子部における第1の基板21と第2の基板27との間のシール材26の接着性を改善する手段を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】 本発明の液晶表示パネルにおいては、透明絶縁性基板の上に少なくとも複数の行電極と、該複数の行電極と交差するように絶縁膜を介して配設された複数の列電極を有する第1の基板と、透明絶縁性基板の上に少なくとも透明導電膜を有する第2の基板によって液晶を挟み、該第1の基板に、該第2の基板に電圧を印加するための端子部を有する液晶表示パネルにおいて、該端子部の、該第1の基板と該第2の基板の周辺を貼り合わせるためのシール材を適用する部分の表面に凹凸構造を有する構成を採用した。

【0010】 この場合、第2の基板に電圧を印加するため第1の基板上に形成された金属膜からなる端子部に

少なくとも1個の孔が形成され、その上に形成された絶縁膜のシール材を適用する部分の表面に該孔に相当する凹凸構造を有する構成とすることができる。

【0011】また、この場合、第2の基板に電圧を印加するために第1の基板上に形成された金属膜からなる端子部とその上に形成された絶縁膜に、少なくとも1個の孔が形成されて、シール材を適用する部分の表面に凹凸構造を有する構成とすることができる。

【0012】

【作用】本発明の液晶表示パネルにおいては、透明絶縁性基板の上に少なくとも複数の電極と、該複数の電極と交差するように絶縁膜を介して配置された複数の列電極を有する第1の基板と、透明絶縁性基板の上に少なくとも透明導電膜を有する第2の基板によって液晶を挟み、該第1の基板に、該第2の基板に電圧を印加するための端子部を有する液晶表示パネルにおいて、該端子部の、該第1の基板と、該第2の基板の周辺を貼り合わせるためのシール材を適用する部分の表面に凹凸構造を有する構成を採用したことにより、シール材の接着性を改善することができる。

【0013】この場合、第2の基板に電圧を印加するために第1の基板上に形成された金属膜からなる端子部に少なくとも1個の孔を形成し、その上に形成された絶縁膜のシール材を適用する部分の表面に該孔に相当する凹凸構造を形成して、シール材の接着性を改善することができる。

【0014】また、この場合、第2の基板に電圧を印加するために第1の基板上に形成された金属膜からなる端子部とその上に形成された絶縁膜に、少なくとも1個の孔が形成されて、シール材を適用する部分の表面に凹凸構造を形成してシール材の接着性を改善することができ、さらに、シール材を第1基板に直接接着させることにより、接着性をさらに改善することができる。

【0015】

【実施例】以下、本発明の実施例を説明する。

(第1実施例) 図1は、第1実施例の液晶表示パネルの構成説明図であり、(A)は平面図、(B)は(A)のX-X'断面図、(C)はY-Y'断面図である。この図において、1は第1の基板、2は端子部、2₁はスリット状の孔、3は保護膜、4、8はITO膜、5は導電性スペーサー、6はシール材、7は第2の基板、9は液晶である。

【0016】この実施例の端子構造を有する液晶表示パネルにおいては、ガラス等の透明絶縁性基板からなる第1の基板1の上に金属膜2が形成され、この金属膜2がバーニングされて複数のスリット状の孔2₁を有する端子2が形成され、その上に、保護膜3が形成され、この保護膜3の第2の基板7とのITO膜8への接続領域の上に開口が形成され、その上に、ITO膜4が形成され、このITO膜4の、外部から電圧を供給する部分

(図1 (A)の左上)と、第2基板7のITO膜8への接続領域(図1 (A)の左下)のみを残して他の領域のITO膜8が除去され、このITO膜4の上に導電性スペーサー5を配置した状態で、ITO膜8を有する第2の基板7がその周辺で有機接着材からなるシール材6によってシールされ、第1の基板1と第2の基板7との間の隙間に液晶9が注入されている。

【0017】この実施例によると、複数のスリット状の孔2₁を有する端子2の上に形成された保護膜3の表面に凹凸構造が生じ、シール材6に対する接着性が改善されるため、シール剥がれによる障害が起きにくくなる。

【0018】(第2実施例) 図2は、第2実施例の液晶表示パネルの構成説明図であり、(A)は平面図、

(B)は(A)のX-X'断面図、(C)はY-Y'断面図である。この図において、1₁は第1の基板、1₂は端子部、1₂、1₃はスリット状の孔、3₁は保護膜、1₄、1₈はITO膜、1₅は導電性スペーサー、1₆はシール材、1₇は第2の基板、1₉は液晶である。

【0019】この実施例の端子構造を有する液晶表示パネルにおいては、ガラス等の透明絶縁性基板からなる第1の基板1₁の上に金属膜1₂が形成され、この金属膜1₂をバーニングして複数のスリット状の孔1₂を有する端子1₂が形成され、その上に、保護膜1₃が形成され、この保護膜1₃の第2の基板1₇のITO膜1₈への接続領域の上に開口と、金属膜1₂の複数のスリット状の孔1₂内にスリット状の孔1₃が形成され、その上に、ITO膜1₄が形成され、このITO膜1₄の、外部から電圧を供給する部分(図2 (A)の左上)と、第2基板1₇のITO膜1₈への接続領域(図2 (A)の左下)のみを残して他の領域のITO膜1₈が除去され、このITO膜1₄の上に導電性スペーサー1₅が配置された状態で、ITO膜1₈を有する第2の基板1₇がその周辺で有機接着材からなるシール材1₆によってシールされ、第1の基板1₁と第2の基板1₇の間の隙間に液晶1₉が注入されている。

【0020】この実施例によると、端子1₂の複数のスリット状の孔1₂内により深い保護膜1₃のスリット状の孔1₃が形成されて、シール材1₆の接着性がさらに改善され、また、シール材1₆が直接第1の基板1₁に連して接着性が改善されるため、シール剥がれによる障害が起きにくくなる。

【0021】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の対向基板への端子構造を有する液晶表示パネルによれば、第1の基板と第2の基板の間のシール材の接着性を改善することができ、その結果、シール剥がれによる障害を抑えることができ、製造歩留りの向上、信頼性の向上に寄与するところが大きい。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1実施例の液晶表示パネルの構成説明図であ

り、(A)は平面図、(B)は(A)のX-X'断面図、(C)はY-Y'断面図である。

【図2】第2実施例の液晶表示パネルの構成説明図であり、(A)は平面図、(B)は(A)のX-X'断面図、(C)はY-Y'断面図である。

【図3】従来の液晶表示パネルの構成説明図であり、(A)は平面図、(B)は(A)のX-X'断面図、(C)はY-Y'断面図である。

【図4】従来の液晶表示パネルに発生するシール劣化状態の説明図である。

【符号の説明】

1 第1の基板

2 端子

2₁ スリット状の孔

3 保護膜

4, 8 ITO膜

5 導電性スペーサ

6 シール材

7 第2の基板

9 液晶

11 第1の基板

12 端子

12₁, 13₁ スリット状の孔

13 保護膜

14, 18 ITO膜

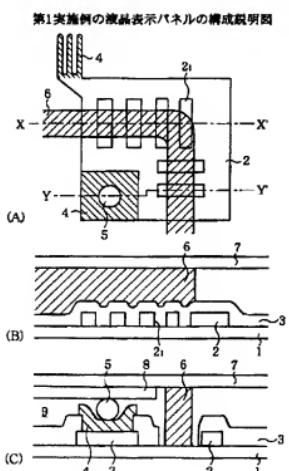
15 導電性スペーサ

16 シール材

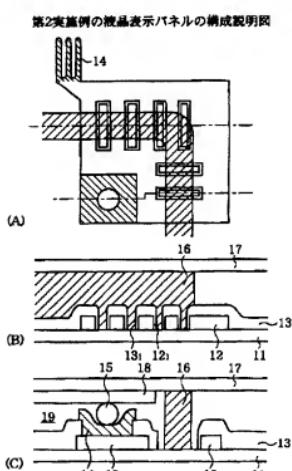
17 第2の基板

19 液晶

【図1】

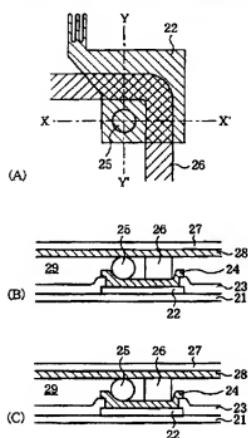


【図2】



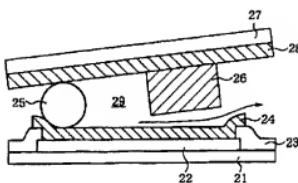
【図3】

従来の液晶表示パネルの構成説明図



【図4】

従来の液晶表示パネルに発生するシール劣化状態
の説明図



- 21 : 第1の基板
- 22 : 噴子
- 23 : 保護膜
- 24 : ITO膜
- 25 : 导電性スペーサ
- 26 : シール材
- 27 : 第2の基板
- 28 : ITO膜
- 29 : 液晶